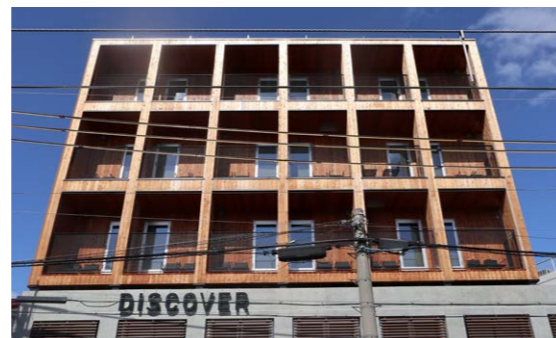
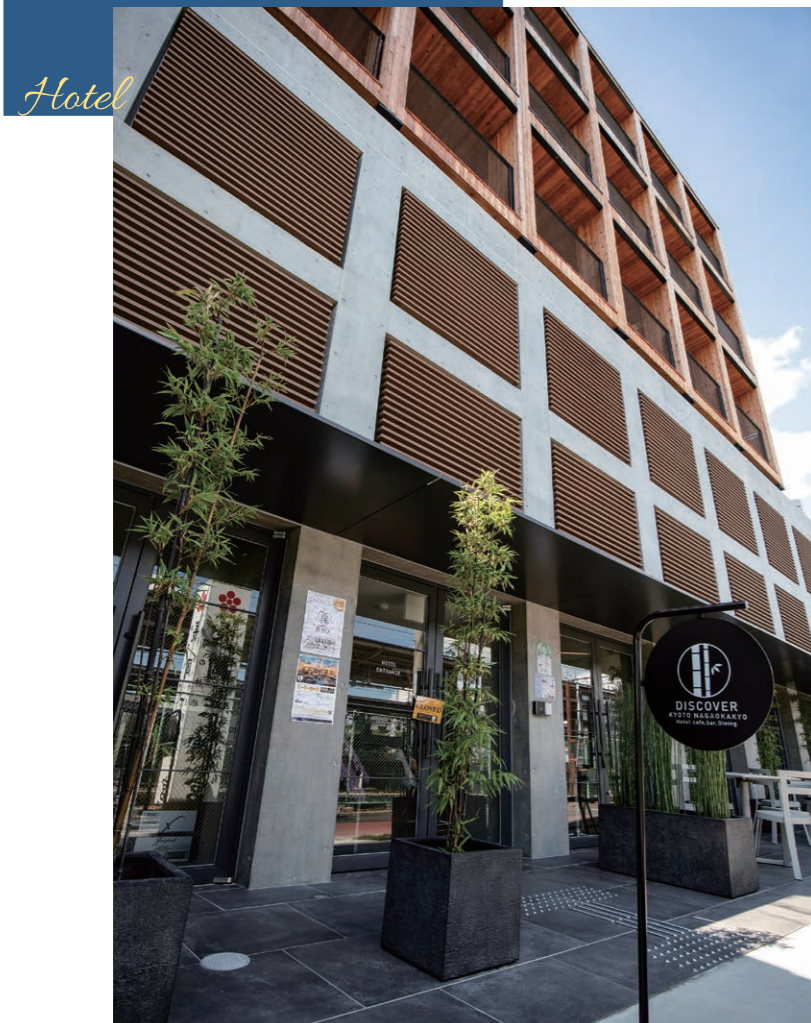


宿泊施設



1階・2階はコンクリート打ち放し、3階～5階は不燃木材張り、構造の材料が外観デザインに表現されている。事業主はツーバイフォー4層の5階建て自社ビルを2016年に建設して以来、商業ビル、高齢者福祉施設等の大規模建築をツーバイフォーで建設している。

3階～5階のツーバイフォー工法のスタッドには京都市内産のスギ材が使用されている。左手に見えるのは、引き抜き力に対抗するタイダウン金物。



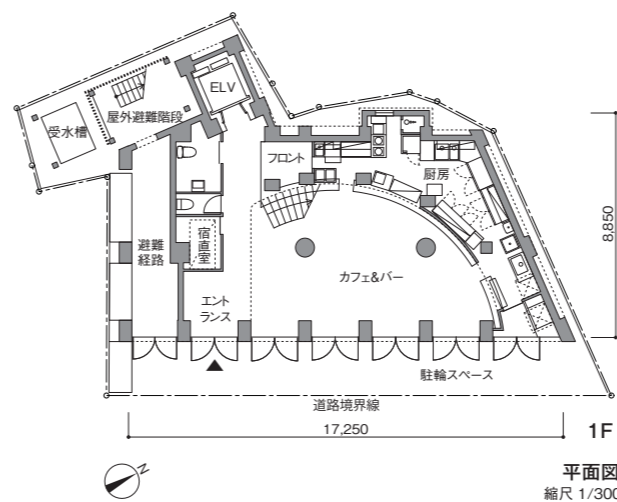
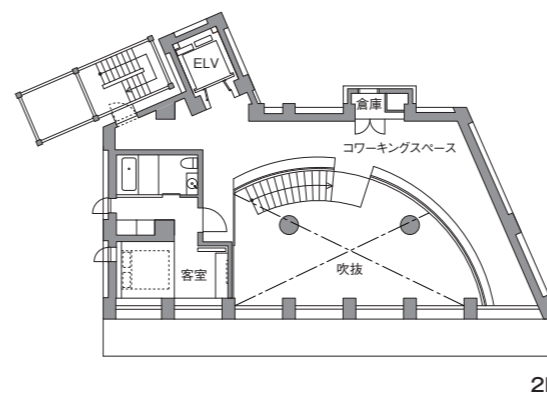
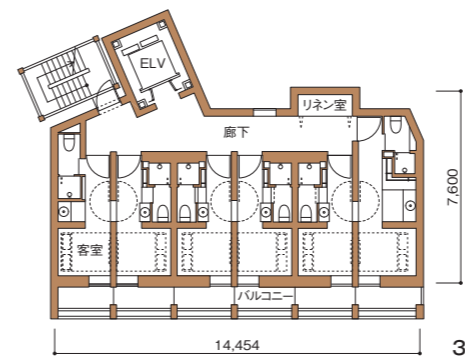
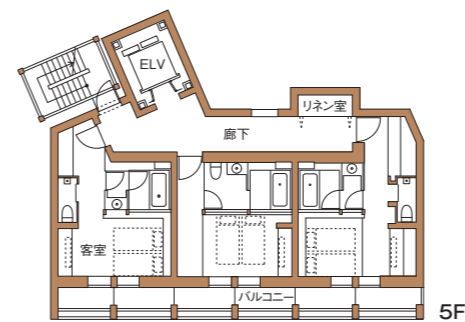
ツーバイフォー 2×4とRCの混構造 5階建ての都市型ホテル

2019年9月、京都市の中心街から約15分でアクセスできる阪急電鉄長岡天神駅前に5階建ての都市型ホテルがオープンしました。

長岡天満宮や細川ガラシャゆかりの地など名所・史跡が多く風光明媚な長岡京。本施設は、京都市中心部から府内広域へと観光客を呼び込もうとする流れのなか、宿泊機能に加え、日本の伝統文化や地域住民との交流を楽しむ「体験型ホテル」というコンセプトで計画されました。カフェ&バーとイベントスペースを兼ねる1階・2階はRC造で大きな吹抜けのホールを確保し、客室中心の3階～5階は京都市内産のスギ材を用いた木造とし、木の温もりが泊まり心地につながるようにと意図された

構成です。「2つの異なる建築が積み重なり、まるで街から自分の家に帰るような、そんな感覚を味わえることを想定しました」と設計者は話します。

3階～5階について「ホテルは耐震性だけでなく、静音性や気密・断熱性をはじめとする快適さが求められるため、木造のなかでも高性能なツーバイフォー工法を採用しました」と語る事業主兼施工会社は「木」で大規模建築を建てることに積極的に取り組む地域ビルダー。木造のホテルらしさ、木の空間の居心地のよさを表現するために、3階～5階の外壁には天然木を採用した不燃木材が張られ、このホテルの特徴的な外観を生み出しています。



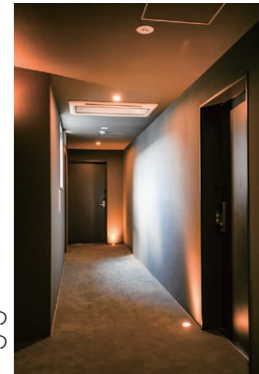
平面図
縮尺 1/300



屋上：
庭園とテラス

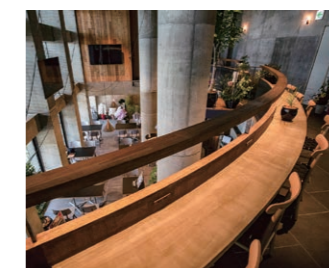
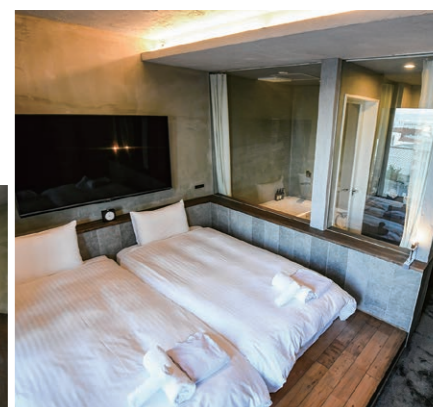
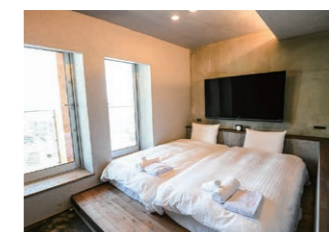
3階～5階：
ツーバイフォー工法
による客室

1階・2階：
RC造による
カフェ&バー、
ホテルフロント等



廊下と客室との
界壁は静音性の
高い仕様。

ホテルの客室は全部で4タイプ16室ある。写真は5階の客室。3階・4階にはジョイントして使える客室がある。ベッドまわりやカウンターに木材が使用されている。「静かに過ごせたのでまた滞在したい」という観光客もいる。



1階のカフェ&バー「まちバルSUBACO」。地元長岡京産の食材やお酒が提供され、国内外の旅行者と地域の人たちが集う「街のたまり場」をめざした空間。東面にはガラスの両開きドアが7面設置され、開放すると内外を一体に使える。2階にはWiFiを利用できるコワーキングスペースがあり、吹抜けに沿ってカウンターが設けられている。

物件概要 Discover 京都長岡京

所在地：京都府長岡京市
用途：宿泊施設
構造：1階・2階／RC造
3階～5階／ツーバイフォー工法
(1時間耐火構造)

規模：5階建て
敷地面積：227.34㎡ (68.77坪)
建築面積：149.47㎡ (45.21坪)
延床面積：561.40㎡ (169.82坪)
事業主：株式会社 株式会社

設計：OHA+MOVE設計共同体
施工：株式会社
工期：2018年5月～2019年8月
用途地域：近隣商業地域
建築条件：建蔽率80%、容積率240%